



学校だより 神橋

令和3年2月26日
横浜市立神橋小学校

3月号

チェリーブラッサム

校長 末松 隆一郎

春霞たなびき、街や山々の稜線も、春の始まりを力強く縁取るようになり始めた弥生3月。梅の花も満開となり、季節は確実に、芽生えと躍動の時を迎えようとしています。優しさと力強さを増す春光の力も借りて、コロナの脅威が一日も早く払拭されることを心から願うばかりです。

感染拡大による2カ月に及ぶ休校、緊急事態宣言に始まった今年度も、残り僅かとなりました。学校では卒業式の練習も始まり、1年の総仕上げ、そして、次年度の準備に、感染対策を講じながらも一層の拍車がかかり始めています。

今年は暖冬のためか、桜の開花予想も早く、最新の予報では、横浜の開花予想日は3月18日頃とのこと。一足早い春の訪れは嬉しさもありますが、学校的には「入学式までは散らないで」と思ってしまうですね。列島に本格的な春の訪れを告げていくかのように北上していくこの花は、卒業・入学に関わらず、様々な別れと出会いの中で、それぞれにとっての新しい季節が始まる期待と喜び、不安や緊張を、蕾から開花、満開から散りゆく儂い時の中で私たちに与えてくれているように思います。そして、そんなドラマチックなこの花には、たくさんの歌が歌い継がれてきました。森山直太朗「さくら(独唱)」、コブクロ「桜」、福山雅治「桜坂」、いきものがかり「SAKURA」、嵐「サクラ咲け」等々、どの世代にも思い出深い「桜ソング」がきっとあるのではないかと思います。

私にとって忘れられない桜ソングは、1981年、松田聖子さんの「チェリーブラッサム」です。この歌が流行り、その年の桜が開花した頃、私は大学受験に失敗し、浪人することとなりました。歌詞にある「未来の夢 キャンパス」を掴むことができず、開花、満開、お花見シーズンというニュース画像や松田聖子さんのこの歌を予備校選びをしている日々の中で聴くたびにこう思っていました。「来年の今頃は、絶対にこの歌を口ずさみながら、自分の夢を描き始めよう！」と。翌年の春には無事夢を描くためのキャンパスを手にすることができましたが、今でもこの歌を聴くと、当時の様々な思いが鮮明によみがえります。そして、その時々感じた桜の美しさの違いも。



本格的な春、そして、桜の季節もすぐそこまでやってきました。今年の桜、子ども達はその美しさは何を感じるのでしょうか。皆様にとってはどうでしょうか。目に見えぬ脅威との戦いが続く中でも、今年も桜咲く季節が巡って来てくれたことに感謝し、神橋小学校に関係するすべての方々お一人お一人が、それぞれの美しい桜に出会えることを、そして、今年の桜の美しさを、いつしか懐かしく思う日がくることを心から願っています。

♪何もかも めざめてく 新しい私
走り出した船の後 白い波 踊ってる

つばめが飛ぶ 青い空は 未来の夢 キャンパスね
自由な線 自由な色 描いてゆく 二人で

—ありがとうございました。—

本年度一年間、本校の教育活動、様々な感染対策に関する取組に対しまして、保護者並びに地域の皆様にご理解とご協力を賜りましたこと、教職員一同心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。次年度も、「感染拡大防止対策年度」になるかと思いますが、安全健康を軸に「子ども達にできること」に鋭意努力を重ね、共に歩む中で成長・発展し、「桜咲く」一年にしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

